

## 中野市立小学校及び中学校適正規模等審議会

### <中間まとめ>

#### 1. はじめに

本審議会は、少子化時代を迎え児童生徒が減少していく中野市の状況に鑑み、中野市内の小中学校の適正規模、適正配置、学校教育のありかたについて検討することを目的に中野市教育委員会の諮問機関として設置された。この報告は、第1回（平成24年9月6日）から第7回（平成25年7月28日）までの審議の概要をまとめ、委員の共通理解をもとに今後の審議の内容と方向を見極め、答申に向けた実質的審議の資料とするためのものである。

#### 2. 諮問内容

本審議会は以下の事項について審議し、平成26年9月までに中野市教育委員会へ答申するよう求められた。

- ・少子化を迎えた中野市の望ましい教育環境はどうあるべきか
- ・小中学校の適正規模に関すること（学級あたりの児童生徒数、学年あたりの学級数、など）
- ・小中学校の適正配置に関すること（学校数など）

#### 3. 委員構成

本審議会は、中野市教育委員会から委嘱された委員25名で構成され、各委員の任期は2年である。なお、平成25年度（第5回審議会以降）に改選により新委員5名が委嘱された。

#### 4. これまでの審議の概要 【附表参照】

##### 4-1. 討議内容

第1回審議会（H24.9.6）から第7回審議会（H25.7.18）まで、全体討議とグループ討議を通して下記の内容（抜粋）を中心に議論し、意見交換を行った。

##### (1) 審議会の進め方について

- 子どもの数の推移（少子化傾向）を念頭において進めていかなければならない。
- 少子化が進むなかで生じてくるさまざまな問題点や課題を明らかにし、それを共有して進めること。
- 学級数や児童生徒数などの数の背景にある内容を掘り下げて審議し、答申に盛り込んでいく。
- 教育論だけを述べる審議会にならないようにし、実務的事象（適正規模・配置）を導き出すようにしたい。
- 保護者、学校、地域社会がどういう子どもを育てたいのか、どんな学校／教育を望んでいるのかを掘り下げ、審議会としての共通理解をもつことが大切である。
- 答申後に教育委員会と市が学校問題をどのように進めていくのかを見通した上で審議会を進めていく必要がある。

##### (2) どんな子どもに育てたいか

- 夢を持ち、つまづきながら乗り越え、意欲をもって学び続けるこども
- 人や物を思いやるこども ○心や体を鍛えがんばるこども ○自ら粘り強く学び考えるこども
- 自ら学び、自ら考えるこども ○やさしさと思いやりのあるこども ○友達を大切にするこども
- 学びあい、磨きあい、支えあって、共に高め合うこども
- 自尊感情を高め、自分らしく、生き生きと生活するこども
- 未来を切り開くたくましいこども

##### (3) どんな学校にしたいか

- 自らよく考え、共に学びあい、心豊かにたくましく生きる児童を育成する学校

- 一人ひとりが安心して学べる学校
- いじめの無い、みんな仲良しの学校
- 「わかった」「できた」という喜びを感じる楽しい学校
- 生き生きと笑顔いっぱいの学校
- 向学の気風に満ち、子どものよさを伸ばす魅力ある学校
- 基礎学力をしっかりと身につける学校
- その子の特性を活かし学力を着実に身につけていく学校
- 保護者、地域にひらかれ、期待と信頼に応える学校

#### (4) 学校の現状と課題（小規模校のメリット／デメリットを中心に）

##### <メリット>

- 人数が少ないほど一人ひとりの活動の機会を設定しやすく、子どもたちの成長を促せる
- 人数が少ないと児童会活動でも一人一役責任ある活動ができる。
- 全職員で全児童を育てると言う基本姿勢を日常的に共有できる。
- 小規模の学校はどの学校も共通して大きな問題がなく暖かい雰囲気包まれている

##### <デメリット>

- 単級の学校では教科を軸にした学力向上に目を向けていかなければならない。
- 学級運営を独自のやっていたのでは学力がつかない。
- 人数が少ないと教育活動が制約される。 ○グループ学習、習熟度別学習ができていく
- 専科教員による指導、クラス替えが困難になる ○複数の校務分掌が多くなり職員の負担が増す
- 研修や出張に無理が出て、融通が利かなくなる ○単級一人担任の責任だけでは遠足の下見は不安である
- 大規模校になると教科担任制の学びができる；子どもの中でいろんな遊びが生まれる
- 人数が少ないときめ細かな指導ができるが、安心した先生との人間関係のもとで受身的／受動的姿勢ができやすい。他の子どもと議論していく活発さ遅しさが生まれにくい
- 小規模校ではみんな名前を知り合っていて家庭的であるが、人間関係でこじれたことが起きると時にはなかなか修復できない
- 小規模学校の地域の方々には学校の支援で負担が大きくなっている

#### (5) これからの教育（先行的試行）

- 小中連携教育や小中一貫教育の推進
- 地域参加型コミュニティ・スクールの構想と試行
- テレビ電話、インターネットなどの機器活用で学校間、社会をつないで進める教育

#### (6) これからの審議会の持ち方

### 4-2. 話題提供『市内小学校における学校教育の現状について』

第6回審議会（H25.5.16）において、上記のテーマで山岸委員（日野小学校長）と上原委員（平岡小学校長）に話題提供をお願いした。学校教育法\*で定める適正規模（学級数）からすると、中野小は大規模校、平野小は適正規模範囲内、平岡小を含む残り9校は小規模校である。この現状を踏まえ、学級規模（小規模または大規模）に伴うメリットとデメリット、それに係る学校運営上の具体的な取り組みの内容、今後の課題等に関する発表が行われた後、全体で質疑応答と意見交換を行った。

\* 現在の学校教育法施行規則による規定では、小・中学校ともに12学級以上18学級以下を標準とし、地域の実態その他により特別の事情があるときは、この限りでないとしている。

### 4-3. 話題提供『近隣の学校の現状について』

第7回審議会（H25.7.18）へ木島平小学校長の関孝志氏を招聘し、上記のテーマに関する話題提供をお願いした。中野市に隣接する木島平村は平成22年度に村内3小学校を統合後、保小連携教育と小中一貫教育を推進し、学校と地域を支えるコミュニティ・スクール（文部科学省「学校・家庭・地域連携協力推進事業」の一つ）の新たな仕組みづくりにも着手している。現在、これらの取り組みの中心となっている学校長の立場から、小学校統合の経過、木島平型教育の特徴、小中一貫教育の理念と内容、コミュニティ・スクール、等について発表が行われた後、全体で質疑応答と意見交換を行った。

（文責） 2013/8/29 会長 小島 哲也

【附表】これまでの審議会（第1回から第7回まで）の概要

回	日時／場所	出席者数	主な内容
第1回	平成24年9月6日（木） 午後2時30分～午後5時 中野市役所3階 31・32号会議室	23名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員へ人事通知書交付（栗原教育長）</li> <li>・土屋教育委員長、栗原教育長あいさつ</li> <li>・委員自己紹介</li> <li>・会長及び副会長の選出（投票による互選）</li> <li>・会長及び副会長あいさつ</li> <li>・土屋教育委員長から諮問</li> </ul> <報告事項> ○市内小中学校児童・生徒数の推移等について （資料に基づき事務局から説明） <会議事項> ○今後の審議会の開催・運営方法等について
第2回	平成24年11月1日（木） 午後3時～午後5時15分 中野市豊田支所2階 大会議室	21名	<報告事項> ○教育懇話会での質問について ○地区別の子ども数について ○諮問について ○委員から提出された意見書について <会議事項> ○今後の進め方について
第3回	平成25年1月24日（木） 午後3時～午後5時15分 中野市豊田支所2階 大会議室	20名	<会議事項> ○中野市における学校教育の現状について （中野小、日野小、平岡小のグランドデザインと教育活動の紹介）
第4回	平成25年2月8日（金） 午後3時～午後5時15分 中野市豊田支所2階 大会議室	15名	<会議事項> ○グループ討議①「少子化時代における学校教育のあり方について」（グループ別討議と発表） 安全／子ども育成／地域の問題／子どもの学習機会・人材確保・費用均等性／中野市はどんな子どもを育てるのか／社会でたくましく生きる、など
第5回	平成25年3月26日（火） 午後3時～午後5時15分 中野市豊田公民館2階 会議室	16名	<会議事項> ○グループ討議②「学校と地域」（グループ別討議と発表） 地域間連携／子どもの孤立化／地域の大人との関係／地域にとっての学校／学校と地域の関係／広域学校／地域力／地域のつながり、など
第6回	平成25年5月16日（木） 午後3時～午後5時 中野市豊田支所2階 大会議室	21名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市村教育委員長、小嶋教育長あいさつ</li> <li>・新委員4名へ人事通知書交付（小嶋教育長）</li> </ul> <会議事項> ○「市内小学校における教育の現状について」山岸委員と上原委員による話題提供（大規模校と小規模校のメリット／デメリット、学校運営上の工夫、取り組み内容、課題、等について）
第7回	平成25年7月18日（木） 午後3時～午後5時15分 中野市豊田支所2階 大会議室	20名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新委員1名へ人事通知書交付（小嶋教育長）</li> </ul> <会議事項> ○「近隣の学校の現状について」木島平小学校長・関孝志氏による話題提供（木島平村における学校統合、小中一貫教育、コミュニティ・スクール等の取り組み、等について）